

平成 25 年度「在宅歯科医療連携推進研修会」実施要領

1. 目的

高齢者、特に要介護高齢者は口腔機能の著しい低下、口腔衛生状態の不良により、歯科疾患が発生・悪化しやすいだけでなく、誤嚥性肺炎などの全身的な影響を引き起こすことが明らかになっている。そのため、高齢者等の全身の健康管理のためには口腔ケアも重要であり、このことは医療・保健・介護関係者に認知されている。このようなニーズに対して、口腔ケアの提供体制整備、関係機関との連携や関係者の資質向上を図ることを目的とする。

2. 主催 富山県・富山県歯科医師会

3. 日時 平成 25 年 8 月 29 日（木） 13:30～16:30

4. 場所 富山国際会議場メインホール（富山市大手町 1 番 2 号）

5. 対象者 ケアマネジャー、ホームヘルパー、介護施設職員、看護師、
その他歯科保健関係者

6. テーマ 「命を支える口腔ケア、在宅歯科医療」

7. 講師 国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター

すみ やすのり
歯科口腔先端診療開発部 部長 角 保徳

8. 抄録

2015年には日本の人口の4人に1人が65歳以上の高齢者になると予想され、今後日本は世界に類のない高齢社会になることが確実です。高齢化に伴い、要介護高齢者も増加し、食事、排泄、保清、入浴など多忙を極める看護・介護サービスの中で口腔管理は後回しにされがちです。高齢者の口腔清掃度は低く、残根、歯周炎、口腔乾燥、舌苔など様々な様相を呈しています。また、歯牙齲蝕や歯周病による歯牙の喪失、長年の咀嚼・咬合による歯牙の摩耗、咀嚼筋の廃用萎縮などのため食物の摂取が困難になることがあり、看護師や介護者、家族による口腔管理の必要性が示されてきています。さらに、口腔の健康や口腔機能は、様々な内科疾患、老化、認知症など、身体全体の健康と密接に関連していることが明らかになってきました。

日々の口腔ケアは、単に口腔内を清潔にするだけでなく、誤嚥性肺炎や感染性心内膜炎など高齢者にとって致死的な難治性感染症を未然に防ぎ、さらに口腔機能、摂食・嚥下機能を向上させる可能性が指摘され、高齢者のQOL向上の観点からも極めて重要な課題となっています。口腔ケアは、QOL向上を目指した生活援助としてのケアであるばか

りではなく、生命の維持・増進に直結したケアでもあり、口腔ケアの普及は緊急の課題の1つと考えられます。

本講演では看護師や介護者、ご家族の皆さまに知っておいてほしい口腔に関する知識と口腔ケアについてお話しします。

9. 略 歴

勤務先：国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター
歯科口腔先端診療開発部

現 職：部長

学 歴

昭和50年 愛知県立旭丘高校卒業

昭和56年 東京医科歯科大学歯学部卒業

昭和60年 名古屋大学大学院医学研究科修了（医学博士）

職 歴

昭和61年 名古屋大学医学部助手

平成 2年 名古屋大学医学部講師

平成 2年 小牧市民病院歯科口腔外科部長

平成16年 国立長寿医療センター先端医療部口腔機能再建科医長

平成23年 国立長寿医療研究センター 歯科口腔先進医療開発センター
歯科口腔先端診療開発部 部長 現在に至る

客員教授：東京歯科大学、松本歯科大学、岡山大学、徳島大学

非常勤講師：東京医科歯科大学（歯学部および大学院）、鶴見大学、松本歯科大学、
長崎大学、朝日大学、鹿児島大学

著 書

角 保徳 “歯科医師・歯科衛生士のための専門的な口腔ケア～超高齢社会で求められる全身と口腔への視点・知識～” 医歯薬出版 2012年

角 保徳 “新編5分でできる口腔ケア 介護のための普及型口腔ケアシステム” 医歯薬出版 2012年

角 保徳 “一からわかる抜歯の臨床テクニック” 医歯薬出版 2008年

角 保徳、樋口勝規、梅村長生 “一からわかる口腔外科疾患の診断と治療” 医歯薬出版 2006年

角 保徳 “誰でもできる高齢者の口腔ケア” ビデオ 中央法規出版 2003年

在宅歯科医療連携推進研修会受講申込書

平成25年8月29日(木) 13:30

富山国際会議場メインホール

勤務先

勤務先住所

NO	職 種	受講者氏名
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
	計	名

○申込み先

〒930-0887 富山市五福五味原2741-2

一般社団法人 富山県歯科医師会

【TEL】 076-432-4466

【FAX】 076-442-4013

【Eメール】 mail@tda8020.com